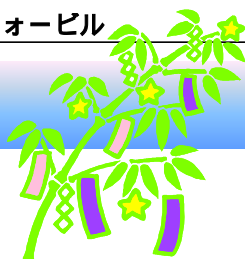


社 報



安全週間を迎えるにあたり

新任役員

7月1日付けにて
 常務取締役型枠統括部長
 竹島康文(取締役工事部長
 取締役資材部長
 中野辰也(代表取締役専務
 ()内は旧職を表示
 中野さんには長期の大役を
 ありがとうございます。厚く御
 礼と感謝も申し上げます。
 今後よろしく申し上げます。

安全個人表彰

6月18日に清水建設の安
 全大会が開かれました。
 当日は浦谷工事部の浦谷
 職長が、施工の優秀さを評
 評価され個人表彰をいた
 だきました。浦谷部の皆さんに
 は、浦谷職長を中心に社の
 評価を高めていただきあり
 がとうございます。
 今後も、さらに腕を磨いて
 「良い仕事」をお願いします。

7/1~7/7 全国安全週間

先日の清水建設の安全会議にて、
 下請会社のトップは、安全週間を契機
 に、安全に対する所信表明を行い、
 再度、現場での災害防止を徹底して
 ください、との指示がありました。

当社では折々に、この社報を利用
 して、安全に対する考えや、取り組む
 べき内容、また事故事例につきまして
 報告・発表をしてきました。

安全には、「もう・・・これで安心！」
 というレベルは存在しません。繰り返
 し繰り返し、同じ事を言い続け、指導
 を行い、レベルを上げていく必要が
 あります。

そうした努力で、レベルを上げる事
 に成功をしても、さらなる努力を行わ
 なければ、なぜか、せっかく上げたレ
 ベルも下がってしまいます。

安全の意識レベルを上げる、安全
 の管理レベルを上げるのは、困難と
 言えるほど難しいものです。しかも、
 さらにレベルを上げるとなると、まさ
 に至難であり、少しでも手を抜くと、あ
 っ言う間に1年生のレベルまで下がっ
 てしまいます。

まずこのことを認識し、普段から安
 全に対して、自らの取り組みを考
 えておく必要があります。これは一人KY
 などの、現場での活動ではなく、一人

一人が、安全に対する取り組み姿勢
 を、自身の力で考え、その上で実践
 する必要があるということです。

労働安全行政と言う言葉がありま
 す。主には監督署の民間指導の事
 を言うのですが、批判をするつもり
 はありませんが、なにかしら上から対
 策を押し付けられているような気がし
 ます。行政の方は、良く繰り返し型
 災害と言われますが、ほとんどの職
 人にとって事故は初めてであり、繰
 返し災害を起こすことはありません。

過去を思えば、確かに事故は多か
 った時代を経て、安全活動が熱心
 に行われて事故は減ってきました。

が、職人の安全で言えば、私は過去
 に戻るべきであると思います。

昔、ビル建築の外部足場が丸太足
 場であった時代に、職方の親方は、
 職人をどうシツケていたでしょうか。
 安全設備が良くなっていくと共に、
 あの頃の「良さ」も失っていったか
 もしれません。

何かひとつでもミスをすると、命を
 失うかもしれない職業、だからこそ
 守らなければいけない厳しいルール。
 それは現場規律以前に、親方や職
 人の心に存在していました。

ご安全に！

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

第5期決算を発表！

おかげ様で、2008年4月30日をも
 ちまして、当社の第5期決算を迎える
 ことができました。
 売上 13億3091万円
 前年度比 - 22.1%
 利益 2746万円(税引)
 前年度比 +145%
 皆様のお陰で、無事に決算を終
 えることができました。あらためて、お礼と

感謝を申し上げます。
 これで5期連続で黒字決算となりま
 した。当社は売上の規模に比べて、
 まだまだ資本が足りない状況にあり
 ます。今後もさらに自己資本を充実
 して、安定的な健全経営を目指して
 行きたいと思っております。

当社決算の詳細はホームページで
 ご覧になれます。

2008年 安全成績

現場災害 H20.1.1-H20.7.2	
休業災害	----- 1
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 1
交通災害 H20.1.1-H20.7.2	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0